

記者発表

北陸地方整備局 北陸技術事務所

発表日

平成25年9月25日

北陸の建設技術力向上に応える

平成25年度「建設技術報告会」を開催します。

～民・官で研究開発された新技術・新工法を報告～

新技術・新工法の活用普及、建設技術者の技術の研鑽などを目的に「平成25年度建設技術報告会」を開催します。

- ・ 会 場:朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
(所在地交通等は別紙参照)
- ・ 開催日時:平成25年10月2日(水)9:30～16:30
(9:00から受付)
- ・ 主 催:平成25年度「建設技術報告会」実行委員会
(構成は別紙参照)
- ・ 基調講演:演題:雪につよいまちづくり ～発想の転換～
講師:(有)MAX・ZEN performance consultants
代表取締役 丸山 結 香
- ・ 入 場 料:無 料
- ・ そ の 他:CPD／CPDSの認定プログラムになっており、聴講者にはポイント
が付与されます。(CPD6単位／CPDS3単位)

【同時発表記者クラブ】**管内各県記者クラブ****【お問い合わせ先】**

北陸地方建設事業推進協議会
平成25年度「建設技術報告会」実行委員会
事務局

(北陸地方整備局 北陸技術事務所)

副所長 樋口 昌幸

電話 025-231-1281(代表)

(内線205)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

※本資料は北陸地方整備局HPにも掲載しています。
fax 等により記載内容が不鮮明な場合は上記 HP の
アドレスをご覧ください。

北陸地方建設事業推進協議会

平成 25 年度「建設技術報告会」開催のご案内

平成 25 年度「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催するものです。

本報告会は、今回で 18 回目となり、昨年は 500 名を超える行政・民間の技術者の方々が聴講されました。

今年も、皆様方の多数のご参加をお待ちしています。

なお、本報告会は CPD(継続教育)プログラムおよび CPDS(継続学習制度)学習プログラムに登録されています。

■開催日時

平成 25 年 10 月 2 日(水) 9 時 30 分～16 時 30 分

受付 9 時 00 分～

開会式 9 時 30 分～ 9 時 40 分 第 1 会場〔スノーホール B〕

基調講演 9 時 40 分～10 時 40 分 第 1 会場〔スノーホール B〕

「雪につよいまちづくり～発想の転換～」

(有) MAX・ZEN Performance consultant

代表取締役 丸山 結香 氏

技術報告 10 時 50 分～16 時 10 分 第 1 会場〔スノーホール B〕

第 2 会場〔中会議室 201〕

閉会式 16 時 20 分～16 時 30 分 第 1 会場〔スノーホール B〕

■開催場所

朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター)

住所: 〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号

電話: 025-246-8400

駐車場: 万代島駐車場 (A～E) 約 1,850 台収容

- ・営業時間: 24 時間
- ・料金: 最初の 1 時間無料 以降 100 円/30 分
- ・1 日 (入場から 24 時間) 当たり最大 1,500 円

《交通アクセス》

◆JR 新潟駅利用

- ・万代口から路線バスで約 15 分
新潟駅万代口バスターミナル 5 番線より新潟交通 17 系統「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗車、「朱鷺メッセ」下車
- ・タクシーで約 5 分
- ・徒歩 約 20 分

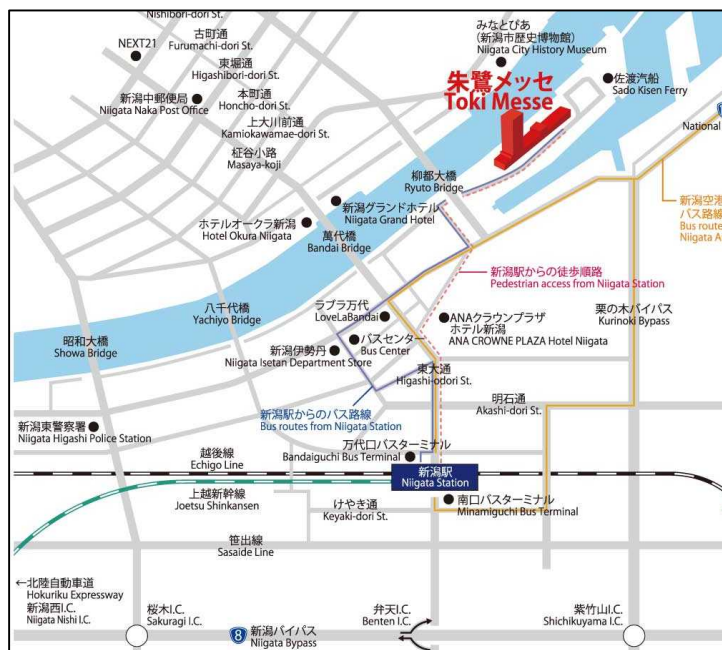
◆自動車利用

日本海東北自動車道 新潟亀田 IC より約 20 分
関越・北陸自動車道 新潟西 IC より約 30 分
磐越自動車道 新潟中央 IC より約 30 分

◆新潟空港利用

- ・タクシーで約 20 分

詳細は朱鷺メッセのホームページをご覧ください。 (<http://www.tokimesse.com/>)



■主 催

北陸地方建設事業推進協議会 平成 25 年度「建設技術報告会」実行委員会

- ・北陸地方整備局・新潟県・富山県・石川県・新潟市・東日本高速道路(株)新潟支社
- ・中日本高速道路(株)金沢支社・(一社)日本建設業連合会北陸支部
- ・(一社)日本道路建設業協会北陸支部・(社)新潟県建設業協会・(一社)富山県建設業協会
- ・(一社)石川県建設業協会・(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(一社)日本建設機械施工協会北陸支部・北陸土木コンクリート製品技術協会
- ・(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部・北陸PC防雪技術協会
- ・(一社)新潟県融雪技術協会・(財)新潟県建設技術センター・北陸地質調査業協会
- ・(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部・(一社)北陸地域づくり協会
- ・(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

■技術報告等

下記の 7 テーマにそって、32 技術の報告を予定しています。

①雪に強い地域づくり

(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)

②良いものを安く

(生産性向上、コスト縮減、省力化に関する新技術 等)

③自然災害からの安全確保

(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)

④環境の保全と創造

(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)

⑤ゆとりと福祉

(情報化、バリアフリーに関する新技術 等)

⑥社会資本の的確な維持管理・更新

(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)

⑦その他

(上記①～⑥に属さない新技術 等)

○その他展示コーナー〔スノーホール A〕－第 1 会場隣－

(1) パネル等展示コーナー

民間企業等で開発された新技術・新工法などをポスターセッション方式でパネル・パンフレット及び模型により紹介します。

* 29 企業等からの展示を予定します。

プログラム（発表時間割等）及び報告論文を北陸地方整備局北陸技術事務所のホームページ（URL：http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/）に掲載しておりますのでご利用ください。
なお、本報告会当日に報告論文の配布はいたしませんので、各位においてご準備ください。

■CPD および CPDS

本報告会（基調講演含む）は、建設系 CPD 協議会による CPD（継続教育）および社団法人全国土木施工管理技士会連合会の CPDS（継続学習制度）プログラムの認定講習となっています。（CPD 6 単位／CPDS 3 単位）

なお、受講証明書の発行は本報告会当日の受講を完了した方とさせていただきます。

■聴講費

無 料

■聴講申込

当日の受付も行います。

■申し込み・問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会 平成25年度「建設技術報告会」実行委員会事務局

〔 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内

担当：技術情報管理官【保全】， 施工調査・技術活用課 技術活用係長 〕

〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5

TEL：025-231-1281（代表） FAX：025-231-1283

E-mail：hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

URL：http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/

北陸地方建設事業推進協議会 平成25年度「建設技術報告会」 プログラム

第1会場〔スノーホールB：2階〕

▼開会式

9:30 ～ 9:40	開会挨拶	今野 和則	北陸地方整備局 企画部 技術調整管理官
-------------	------	-------	---------------------

▼基調講演

9:40 ～ 10:40	「雪につよいまちづくり～発想の転換～」	丸山 結香	(有)MAX・ZEN Performance consultant 代表取締役
--------------	---------------------	-------	---

10:40 ～ 10:50 (聴講者移動・会場整理)

▼技術報告

第Iグループ	1	10:50 ～ 11:05	②	橋梁詳細設計におけるCIMの試行	折橋 一禎	北陸地方整備局 富山河川国道事務所 工務第二課
	2	11:05 ～ 11:20	②	斜め土留め工法	嶋田 洋一	㈱大林組 生産技術本部 技術第一部
	3	11:20 ～ 11:35	②	法面削孔装置の移動式可変勾配足場の活用事例	小島 宏之	㈱郷土建設藤村組 特殊工事業部
	4	11:35 ～ 11:50	②	ダムコンクリート夏期打設における 温度抑制対策の実施事例	柴田 勝博	鹿島建設㈱ 北陸支店
第IIグループ	11:50 ～ 12:50 休憩(昼食)					
	5	12:50 ～ 13:05	②	斜め入射波による護岸越波実験について	加藤 真朗	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所 設計室
	6	13:05 ～ 13:20	②	ロングブーム吹付機の開発と現場適用	藤吉 卓也	清水建設㈱ 土木技術本部 機械技術部
	7	13:20 ～ 13:35	②	北陸地域におけるジオテキスタイル 二重壁補強土壁工法の適用と改訂版の発行	辻 慎一郎	アデムウォール協会
第IIIグループ	8	13:35 ～ 13:50	⑦	シェル型浸透固化処理工法	秋本 哲平	五洋建設㈱ 技術研究所
	13:50 ～ 14:10 休憩					
	9	14:10 ～ 14:25	⑦	「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」について	坂井 浩	新潟県 土木部 技術管理課 技術管理班
	10	14:25 ～ 14:40	⑥	排水・湿潤連続養生によるコンクリートの 耐久性向上技術の開発	臼井 達哉	大成建設(㈱) 土木技術研究所 土木構工法研究室
第IVグループ	11	14:40 ～ 14:55	⑥	ポータブル ワイヤレス ライブカメラシステム(OPECA)の 工事検査における活用事例及びその活用効果について	荒木 克	大陽開発㈱
	12	14:55 ～ 15:10	⑥	老朽化した綱矢板水路の補修・補強工法の開発	佐藤 弘輝	藤村ヒューム管㈱ 技術営業部
	13	15:10 ～ 15:25	⑥	STリペアコート	片山 潤之介	世紀東急工業㈱ 技術部
	14	15:25 ～ 15:40	⑥	一般車両を用いた路面性状評価システムの開発	岡部 俊幸	鹿島道路㈱ 生産技術本部 技術研究所
	15	15:40 ～ 15:55	⑥	FRPを活用した橋梁の長寿命化	河西 龍彦	宮地エンジニアリング㈱ 橋梁事業本部 技術本部
	16	15:55 ～ 16:10	⑥	耐久性に優れたエポキシアスファルト混合物の開発	岡本 信人	日本道路㈱ 技術部

16:10 ～ 16:20 休憩(会場整理)

▼総評・閉会式

16:20 ～ 16:30	総評・閉会挨拶	大石 登	「平成25年度建設技術報告会」実行委員長 (北陸地方整備局 北陸技術事務所長)
---------------	---------	------	--

▼CPD・CPDS

16:40 ～ 17:00	受講証明書の発行(CPD／CPDS受付にてCPDまたはCPDSの受講証明書を発行します)
---------------	--

第2会場〔中会議室201：2階〕

10:40 ～ 10:50 (聴講者移動)

▼技術報告

第Iグループ	1	10:50 ～ 11:05	①	下水熱を利用したランニングコストゼロの融雪システム	藤野 丈志	㈱興和 水工部
	2	11:05 ～ 11:20	①	粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装	北野原 朋宏	大林道路㈱ 技術研究所 材料研究室
	3	11:20 ～ 11:35	①	寒冷地でのFFP追跡調査結果について	藤本 大生	㈱ガイアートT・K 技術研究所
	4	11:35 ～ 11:50	①	雪堤を対象とした散水消雪試験について	長谷川 雅人	㈱興和 水工部
第IIグループ	11:50 ～ 12:50 休憩(昼食)					
	5	12:50 ～ 13:05	③	液状化対策工法エキスパッカ-N工法と管理システム 「スリーPオクト」の開発	佐藤 潤	日特建設㈱ 技術本部 設計部
	6	13:05 ～ 13:20	③	空気注入不飽和化工法(Air-des工法)	居場 博之	東亜建設工業㈱ 技術研究開発センター
	7	13:20 ～ 13:35	③	津波に対する防波堤港内側マウンドの保護工法	松本 朗	㈱不動テトラ ブロック環境事業本部 総合技術研究所
第IIIグループ	8	13:35 ～ 13:50	③	岸壁の耐震補強における大口径・長尺アンカーの施工	菅 浩一	日特建設㈱ 技術本部 技術第二部
	13:50 ～ 14:10 休憩					
	9	14:10 ～ 14:25	③	狭隘地、既設構造物直下対応型の地盤改良技術 －SAVE-SP工法・FTJ工法(揺動式)－	高山 英作	㈱不動テトラ 北関東支店 研究室
	10	14:25 ～ 14:40	③	延長床版システムプレキャスト工法	小川 登	㈱ガイアートT・K 技術開発部
第IVグループ	11	14:40 ～ 14:55	⑤	遊具周りの高弾性ゴム舗装 「ウレタンパーソフト セーフティ」	村上 浩	㈱NIPPO 北信越支店 技術課
	12	14:55 ～ 15:10	⑤	スキッドレスシリーズ(滑り防止工法)	栖原 八朗	愛宕商事㈱ 建築事業課
	13	15:10 ～ 15:25	④	新潟市中部下水処理場における 消化ガス発電の取組み	山本 茂浩	新潟市 下水道部 下水道管理センター 施設管理課
	14	15:25 ～ 15:40	④	港湾工事におけるコンクリートからのリサイクル	本間 義信	㈱本間組 土木事業本部 技術部
	15	15:40 ～ 15:55	④	泥土リサイクル技術「ボンテラン工法」	佐々木 和則	㈱廣瀬
	16	15:55 ～ 16:10	④	環境にやさしいアスファルト舗装	佐藤 慶彦	福田道路㈱ 技術研究所

16:10 ～ 16:20 休憩(第1会場〔スノーホール〕に移動)

報告テーマ ①－「雪に強い地域づくり」 ②－「良いものを安く」 ③－「自然災害からの安全確保」
④－「環境の保全と創造」 ⑤－「ゆとりと福祉」
⑥－「社会資本の適切な維持管理・更新」 ⑦－「その他」

平成25年度 建設分野の新技术・新工法の報告会

建設技術 報告会

平成25年
開催日 10 / 2 水

会場 朱鷺メッセ
(新潟コンベンションセンター)

聴講者募集中

～建設分野に関する新技术・新工法などを発表します～

○本報告会はCPD／CPDSの登録プログラムです(CPD:6単位／CPDS:3単位)

スケジュール (予定)

受付 9:00～ [2階ホワイエ]
開会式 9:30～ 第1会場 [2階スノーホールB]
基調講演 9:40～ 第1会場 [2階スノーホールB]
「雪につよいまちづくり～発想の転換～」
講師:(有)MAX・ZEN performance consultant
代表取締役 丸山 結香 氏
技術報告 10:50～ 第1会場 [2階スノーホールB]
10:50～ 第2会場 [2階中会議室201]
閉会式 16:20～ 第1会場 [2階スノーホールB]

講師プロフィール

(有)MAX・ZEN performance consultant
代表取締役 丸山 結香 氏

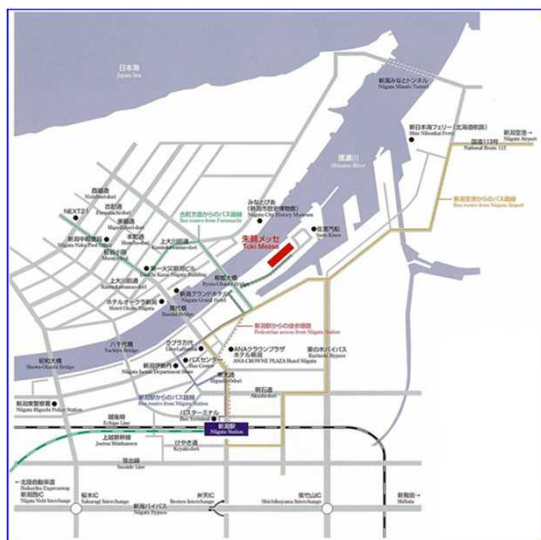


1964年新潟県長岡市出身
アメリカ留学後、現地法人の商社、
コンサルタント会社の勤務を経て
経営コンサルタントとして独立。
2005年、中越地震の被災地旧山
古志村での復興、生業再生を支援
する(有)やまこし道楽村を設立。
2007年度内閣府「平成19年度女
性のチャレンジ賞・特別賞」受賞。

国土交通省関係では、平成24年度に「冬期道路交通の
確保のあり方に関する検討委員会」の委員を務めている。

主催：北陸地方建設事業推進協議会
平成25年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市
東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部
(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(社)新潟県建設業協会
(一社)富山県建設業協会／(一社)石川県建設業協会
北陸土木コンクリート製品技術協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部
北陸P C防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会
(財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会
(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／
(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所



報告技術申込

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>

上記ホームページで情報提供させていただきます。

北陸地方建設事業推進協議会 平成25年度「建設技術報告会」実行委員会

問い合わせ先 (国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5 担当：技術情報管理官)
TEL 025-231-1281 FAX 025-231-1283 E-mail hokugi-info@hrr.mlit.go.jp

聴講
無料